

今週の感染症発生動向

インフルエンザは急増(県内全域で注意報発生基準値以上)
インフルエンザウイルス(B型)の検出

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第3週)

- 一類感染症---報告はありません
- 二類感染症---**結核 9名**
- 三類感染症---報告はありません
- 四類感染症---**レジオネラ症 2名**(病型: 肺炎型 2名、年齢: 60歳代 1名、90歳代 1名)
- 五類感染症---報告はありません

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(1,067名)よりさらに増加し、今週は1,599名となっています。特に、先週に引き続きインフルエンザで急増し、先週の約2.4倍増となっています。今週、増加した疾患は、インフルエンザ、百日咳および無菌性髄膜炎で、他の大部分の疾患は減少しています(週別発生状況については、疾患別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザウイルスについては、平成23年1月17日から1月23日に採取された、うがい液から**B型インフルエンザウイルス**(インフルエンザB型)が検出されました。なお、滋賀県では、平成22年11月29日採取検体から新型インフルエンザウイルスが、平成22年12月22日採取検体からインフルエンザウイルスA香港型が検出されています。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報ならびに注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警報----インフルエンザ(警報開始基準値 30.00、警報終息基準値 10.00)

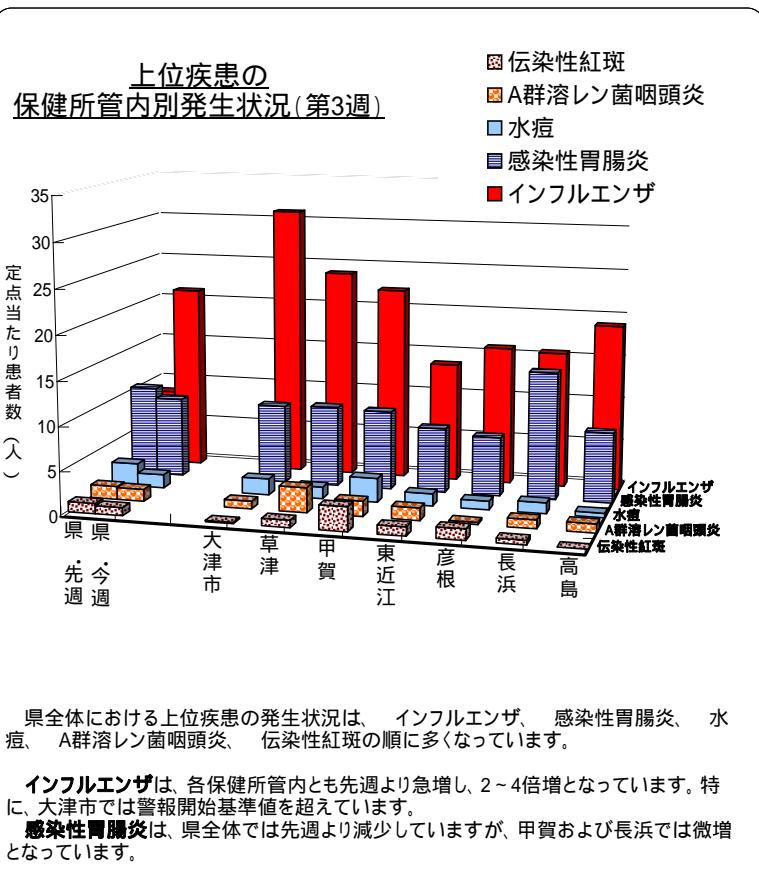
伝染性紅斑(警報開始基準値 2.00、警報終息基準値 1.00)

注意報----インフルエンザ(注意報発生基準値 10.00)

大津市保健所管内

甲賀保健所管内

草津、甲賀、東近江、彦根、長浜
および高島保健所管内



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出することになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成23年累積報告数		平成22年累積報告数 ^{(*)1}		平成21年累積報告数 ^{(*)2}	
		滋賀 ^(3週) ^(3週) ^(2週)	全国 ^{(*)3}	滋賀	全国 ^{(*)3}	滋賀	全国 ^{(*)3}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	21	561	252 ^{(*)4}	26,078	256	26,932
三類感染症	コレラ	0	0	0	11	1	16
	細菌性赤痢	0	5	2	232	0	180
	腸管出血性大腸菌感染症	0	29	66	4,110	27	3,886
	パラチフス	0	2	1	21	0	27
四類感染症	E型肝炎	0	0	0	66	1	56
	A型肝炎	0	4	3	342	0	115
	オウム病	0	0	1	11	0	21
	つつが虫病	0	19	2	396	0	465
	デング熱	0	4	2	243	0	93
	マラリア	0	1	0	75	0	56
	レジオネラ症	3	19	10	726	8	712
五類感染症	アメーバ赤痢	0	17	7	831	10	783
	ウイルス性肝炎	1	6	3	220	3	220
	急性脳炎	0	11	1	234	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	2	167	2	141
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	5	3	124	2	105
	後天性免疫不全症候群	0	25	1	1,513	9	1,449
	ジアルジア症	0	2	1	79	0	73
	梅毒	0	15	8	610	3	692
	破傷風	1	2	0	104	3	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	1	2	119	0	116
	風しん	0	1	5	89	2	148
	麻しん	0	7	1	457	7	739
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^{(*)4}	0	0	0	0	138	12,639

** : 2週に、平成22年第46週分 1件の追加報告がありましたので、251 252に訂正しました。

注: 3週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

* 1: 感染症発生動向調査暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年第52週現在)。

* 2: 感染症発生動向調査年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

* 4: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

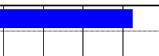
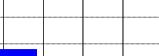
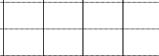
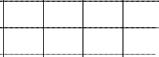
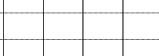
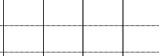
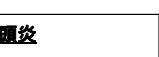
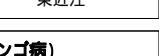
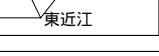
(1) 疾病別・週別発生状況(平成22年第50週～平成23年第3週、H22.12.13～H23.1.23)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加		前週と同じ		前週より減少				
			50週	51週	52週	1週	2週	3週	週				
			12/13～	12/20～	12/27～	1/3～	1/10～	1/17～	51	52	1	2	3
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.21	0.49	1.53	4.04	9.04	21.15					
小児科	32	RSウイルス感染症	3.63	2.97	1.63	1.53	0.91	0.44					
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.25	0.09	0.13	0.25	0.06	0.06					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.78	1.44	0.47	0.91	1.50	1.38					
		感染性胃腸炎	17.88	19.31	12.41	10.59	10.28	9.13					
		水痘	3.50	1.97	2.41	3.09	2.63	1.53					
		手足口病	0.81	0.22	0.03	0.09	0.13	0.06					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.78	0.63	0.53	0.94	1.16	0.91					
		突発性発しん	0.47	0.59	0.41	0.38	0.47	0.47					
		百日咳	0.06	0	0.03	0	0	0.03					
		ヘルパンギーナ	0	0.06	0	0.16	0.22	0.06					
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.16	0.53	0.59	1.41	0.91	0.75					
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
		流行性角結膜炎	0.50	0.75	0.25	0.25	0.25	0.25					
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0.29					
		マイコプラズマ肺炎	1.00	0.14	0.29	0.14	0.14	0					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.14	0	0	0	0	0					

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……インフルエンザ、伝染性紅斑
減少傾向……RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第3週、1/17~1/23)

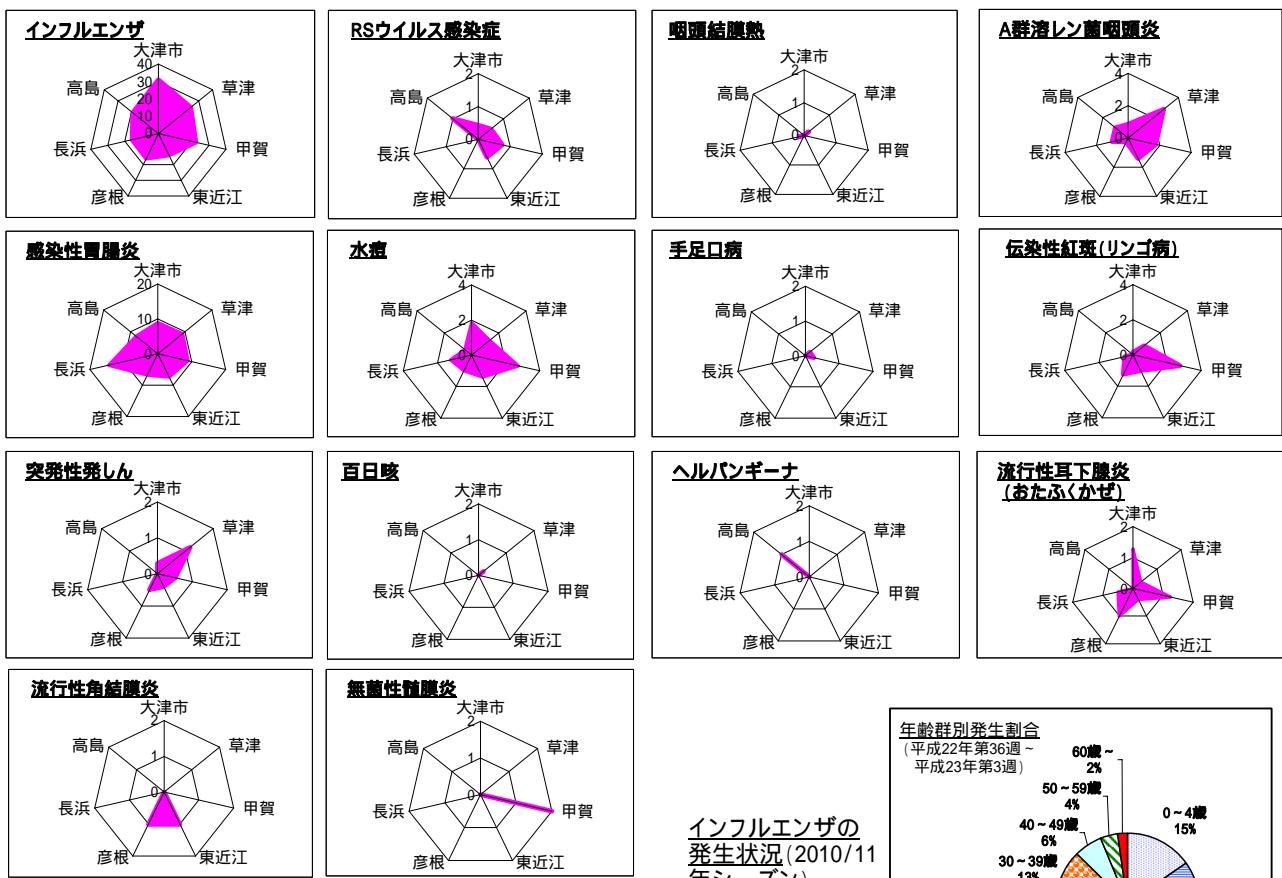
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	21.15	31.00	23.90	22.14	13.63	15.86	15.57	19.00	
RSウイルス感染症	0.44	0.43	0.50	0.75	0.60	0	0	1.00	
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.06	0	0.17	0	0	0	0.25	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	0.86	2.83	1.75	1.40	0.25	1.00	1.00	
感染性胃腸炎	9.13	9.00	9.17	9.00	7.40	6.75	14.50	8.00	
水痘	1.53	1.86	1.33	2.75	1.40	1.00	1.25	0.50	
手足口病	0.06	0	0.17	0.25	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.91	0.14	0.83	2.75	1.00	1.25	0.50	0	
突発性発しん	0.47	0.29	1.17	0.50	0.40	0.50	0	0	
百日咳	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0	0	0	0	1.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.75	1.29	0.33	1.25	0.40	1.00	0.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0	0	0	1.00	1.00	0	0	
細菌性膿膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性膿膜炎	0.29	0	0	2.00	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字 は警報発生基準値を超えています。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 5 10 15 20 25
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3) 今週の発生状況

<水痘>

長浜および高島以外の保健所管内では、先週より減少しています。また、甲賀保健所管内では、先週まで注意報発生基準値(4.00)を超えていましたが、今週の定点当たり患者数は、2.75で、注意報発生基準値未満となっています。

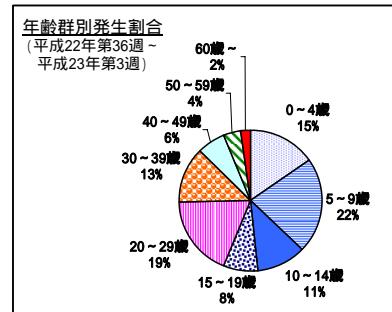
<伝染性紅斑>

甲賀保健所管内の定点当たり患者数は、先週と横ばい(2.75)となっていますが、平成22年第48週(11/29~12/5)に、警報開始基準値(2.00)を超えて以降、連続して警報終息基準値(1.00)を超えていました。

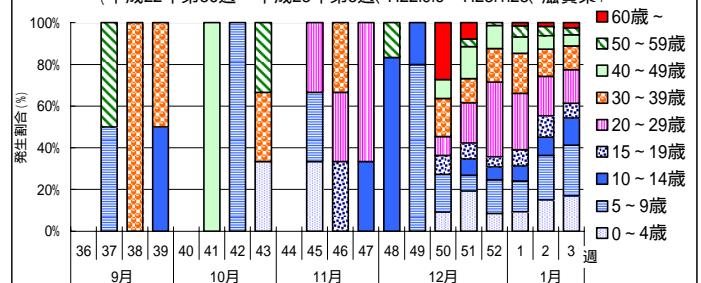
<無菌性膿膜炎>

先週に引き続き、甲賀保健所管内から報告されています。

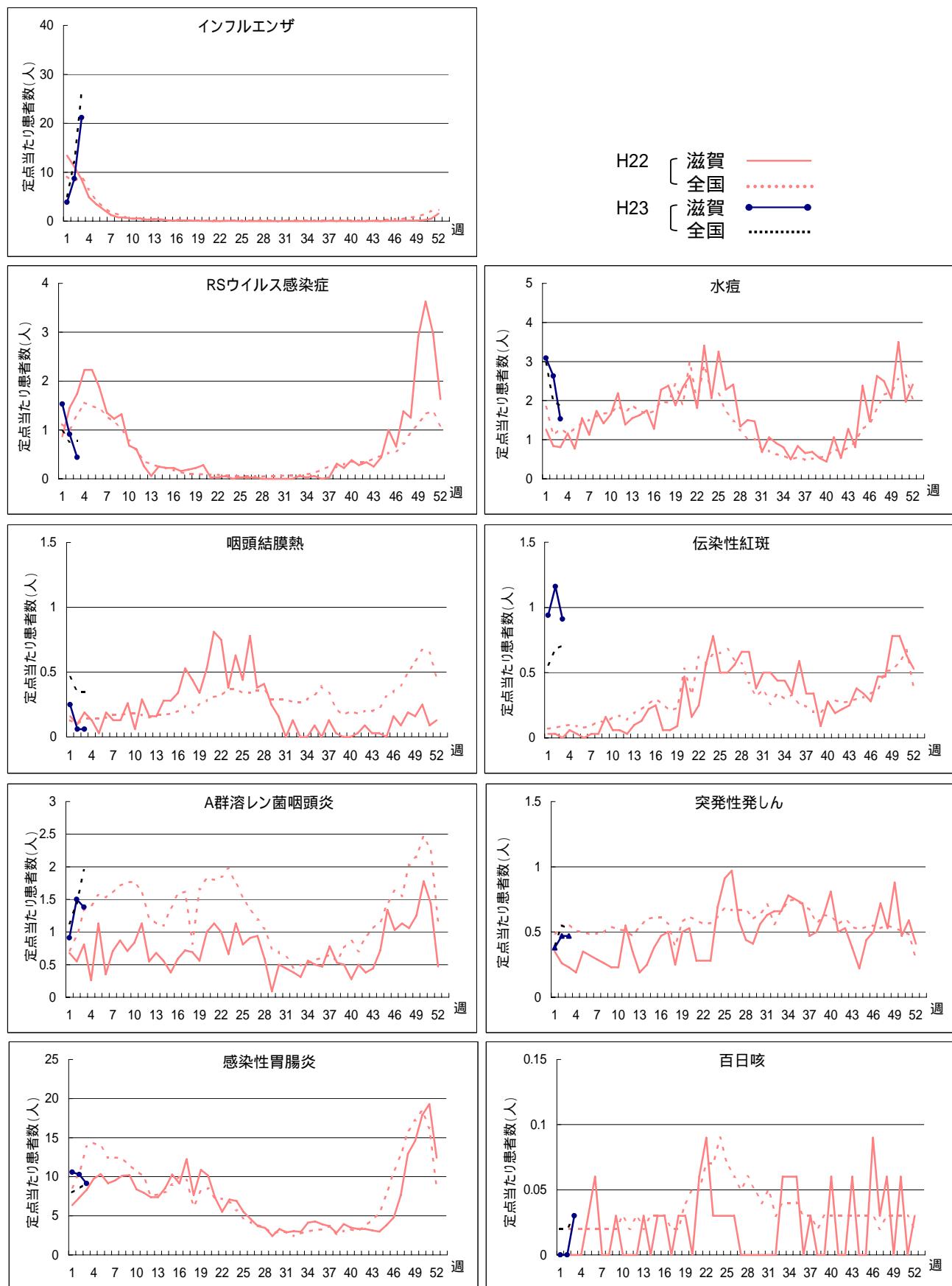
インフルエンザの発生状況(2010/11年シーズン)



インフルエンザの週別年齢群別発生割合
(平成22年第36週~平成23年第3週、H22.9.6~H23.1.23、滋賀県)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～3週、H23.1.3～H23.1.23)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～3週、H23.1.3～H23.1.23)

